



雄

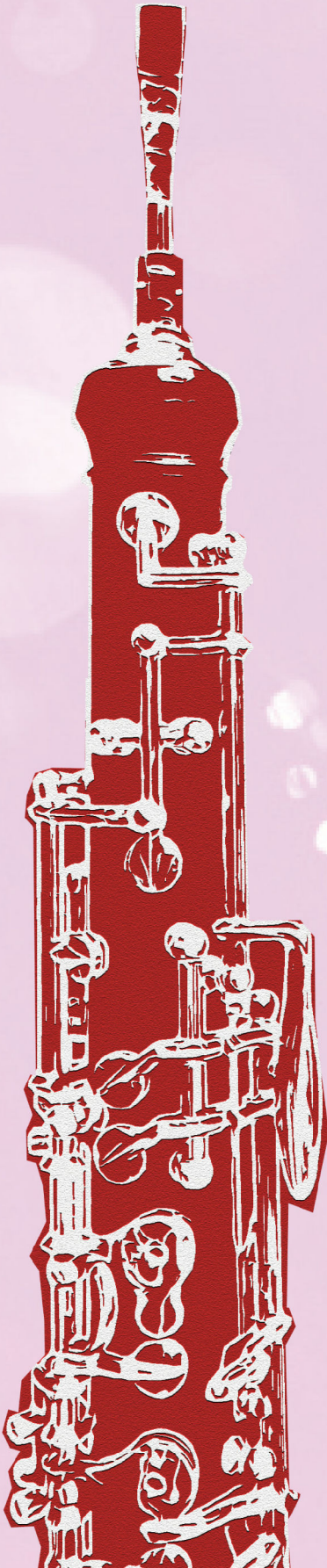
横浜ゾリステン

～指揮者のいないオーケストラ～

2011年 6月15日(水)

開演19:00 開場18:30

みなとみらい小ホール





Program

モーツァルト：「劇場支配人」序曲 K.486

モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314/285d
(オーボエ 崎本 絵里菜)

～ 休憩 ～

ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調「英雄」Op.55



本日はご多忙の折、横浜ゾリステン～指揮者のいないオーケストラ～公演にご来場くださり、誠にありがとうございます。団を代表し厚く御礼申し上げます。

横浜ゾリステンは2009年に結成された、新たなプロフェッショナル・オーケストラです。一昨年11月にベートーヴェン「運命」でデビューを果し、昨年5月は「ブラームスプログラム」と「オーケストラを聴こう!」、同11月は「イタリアプログラム」と演奏活動を続けてまいりました。

私共は“ゾリステン”と銘打っている以上、演奏者各人がアンサンブルを通じてより質の高い音楽を実現するために、全員の集中力を結集させることを重視しています。さらに、「団員直撃インタビュー」にもありますが、“愛”を注ぎ込むことでより完成度を高めたいと考えています。今回はこうした思いから、改めてベートーヴェンとモーツァルトに取組みます。

さて、今宵のメインはベートーヴェン交響曲第3番「英雄」です。また団員をソリストとしてモーツァルトのオーボエ協奏曲にも取り組みます。横浜ゾリステンのこれまで積み重ねてきたアンサンブルが、どのように結実して皆様にお届けできるのか、是非お楽しみいただければ幸いです。

横浜ゾリステンは引き続き高度なアンサンブルによる質の高い音楽をお届けできるよう、今後も活動を進める所存です。まだ結成して2年足らずではありますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。

横浜ゾリステン事務局長 住田英二

～次回演奏会のご案内～

2011年11月5日(土) 19:00開演予定

みなとみらい小ホール

ドボルザーク：交響曲第9番「新世界より」、他

♪ 横浜ゾリステンホームページ <http://www.yokozori.jp/>

♪ mixi コミュニティ『横浜ゾリステン』

🎵 プログラム・ノート

2月某日。横浜市内、横浜ソリスTEN事務局にて選曲会議。

「う～ん、ブラームスはこの前演奏したばかりだしなあ～」

「俺、ハフナー(←モーツァルトの交響曲第35番)やりてえ！」

「ハフナーやるなら中プロはホルンコンチェルトでしょ！」

横浜ソリスTENでは基本的に選曲は団員の仕事である。

あらかじめ団員から募った候補曲を選曲担当メンバーで眺めていた。

今日はメイン曲の決選投票日。団員からの投票でメインの曲が決まる。

そして、そのメイン曲に合う前プロ(1曲目)と中プロ(2曲目)を我ら選曲担当で決めるのだ。

いよいよ。事務局長よりメイン曲の発表…。

「ん?!」

「んん?」

「えーっ!! エロイカ(←英雄)!?」

早速、前プロ、中プロの選曲にとりかかる。まずどのようなコンセプトのもとに構成するのか。

やはり話はフランス革命へ。ベートーヴェンはナポレオンに献呈するためにこの曲を書いたと言われるが本当にそうなのだろうか? それに英雄とは誰のことを指しているのか。

フランス革命の前と後でヨーロッパの音楽家達に何か変化がもたらされたのだろうか。

そんな事を考えているうちに、フランス革命前夜を生き、人生の大半を貴族社会と共に過ごしたモーツァルトが自然と浮かんできたのである。

モーツァルト：「劇場支配人」序曲 K.486

この曲は1786年に皇帝ヨーゼフ2世が義兄弟のオランダ総督アルベルト・フォン・ザクセン・テューシェン大公とその妃のウィーン訪問の際にシェーンブルク宮殿で行われるパーティーのためにドイツ語の音楽劇としてモーツァルトに作曲を依頼した。実はこの時、宮廷楽長であったサリエリにも同時にイタリアオペラの作曲を指示し二人を競わせた。しかも劇場支配人の台本の中身が興味深い。劇場支配人が次の公演の為にキャストのオーディションを行う、という話なのだが、その中でプリマドンナの座をめぐる競い合う二人のソプラノ歌手が登場し、「私がプリマドンナよ!」と言い争う。「みんなそれぞれに素晴らしいところがあるじゃないか」と男性歌手が歌う。そしてこう続ける。「芸術家がおごりを覚えるとその輝きを失ってしまう。芸術家は自分を輝かせるために努力しなければいけない。ただ単なる個人よりもみんなまとまってこそ美しい。みんながひとつにまとまることが私は最も美しいことだと思う。」と歌い幕を閉じる。プリマドンナ2人とモーツァルト・サリエリの競い合いが対比され非常に面白い。この台詞を読み作曲しながらモーツァルトは何を考えていたのだろうか?

モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314/285d

1777年から1778年までモーツァルトはマンハイムに滞在している。

そこから彼はラムというオーボエ奏者について父親にこんな手紙を出している。

「以前、僕がフェルナンデスのために書いたオーボエ協奏曲を彼は既に五回も演奏をして大喝采を浴びている」
この手紙からモーツァルトのオーボエ協奏曲があったことがわかっていたが曲は失われたままだった。

1920年ザルツブルク・モーツァルテウム図書館からパート譜の形で発見された。そのコントラバスの楽譜には「協奏曲ハ長調オーボエ独奏(略) W.A.モーツァルト」と記されていた。

実はこの曲はモーツァルトの有名なフルート協奏曲の元になった曲なのであった。オーボエ協奏曲を作曲後、1778年にモーツァルトはフルート協奏曲の作曲依頼を受けた。しかし依頼主があまりに性急なため彼はつい先日作曲したオーボエ協奏曲を一音あげて(移調して)二長調に直し、フルート協奏曲として依頼主に渡したのだった。この時、依頼主は激怒し報酬を減額したとか、しないとか。仕事に追われたモーツァルトにも人間らしい一面があったようです。

ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調「英雄」Op.55

1789年7月のバスティーユ襲撃をきっかけにフランス全土に争乱が広まり、1799年のナポレオン・ボナパルトによるブリュメールのクーデターにより終焉した「フランス革命」により、経済や政治が貴族から民衆へと移っていった。音楽家もまた宮廷から一般大衆へ向かって商売を始めることとなる。モーツァルトはフリーランスとなりザルツブルクで頑張り、ハイドンはロンドンへ出稼ぎに…。そんな中、貧しい家庭で育ったベートーヴェンもまたどちらかといえば民衆寄りの音楽家だったのだろう。だからナポレオンや民衆の革命精神に共感や理想としていたのかもしれない。

「ベートーヴェンが言うにはこの曲は彼が今まで書いた中で最大の作品だそうです…彼は是非ともそれをボナパルテに献呈したいと願っていますが、それができない場合には題名をボナパルテとつけるでしょう」(1803年10月弟子リースの手紙)

「交響曲はもともとボナパルテという題で普通の楽器編成のほかに3本のオブリガート・ホルンを必要とします。これは聴衆の興味をひくことと思います」(1803年8月ベートーヴェンの手紙) これらの手紙からもわかるようにベートーヴェンはこの曲にかなりの思い入れがあったようだ。英雄が今までの交響曲とちょっと違うのは、

- ①当時の交響曲というスタイルからかけ離れた50分という曲の長さ。
- ②今まで同じパートとして書かれていたチェロとコントラバスが分離して書かれていること。
- ③ホルンが3本(今までは2本もしくは4本)

などを意識して聴いてみると当時の最新モードな音楽をお楽しみいただけると思う。

最後に何故ベートーヴェンは第2楽章を葬送行進曲にしたのか?? この第2楽章に於いては様々な学者が様々な説を唱えているが、今回横浜ゾリステンではこのように考えてみた。ベートーヴェンはこの第2楽章をフランス革命や戦いの中で世を去った民衆のために作曲したのではないだろうか。当時フランスでは革命期を通じて葬送行進曲が演奏され続けていた。ゴセックやケルビーニら当時のフランスを代表する作曲家たちによって作曲されている。つまり葬送行進曲は革命の象徴的なものだったのだ。誰か特定の一個人に対してではなく、あの時、あの瞬間に正義を信じ理想を求めて犠牲になった多くの民衆に向けて捧げられた第2楽章なのではないかと思うと、今の私たちも心に込めたいものを感じずにはいられない。では「英雄」とは誰なのか? 真実は誰にもわからないが、ベートーヴェンが表現しようとした人間誰しも心に持つ信念や正義感は、時代を超えて私たちに語りかけ、また私たちも語るのであろう。

🎵 横浜ゾリステン (パート内順不同)



水村 浩司 (コンサートマスター)

1996年、第50回全日本学生音楽コンクール名古屋大会小学校の部第1位。2001年第55回同コンクール名古屋大会高校の部第1位。2003年東京芸術大学音楽学部器楽科入学。2007年3月同大学を卒業。1998年フランス・ニース夏季国際音楽アカデミーに参加。コンサートに選抜され出演。これまでに北垣紀子、故・久保田良作、澤和樹、山口裕之、松原勝也の各氏に師事。東京芸術大学大学院に在学中ながら、東京シティフィルハーモニック管弦楽団その他数々のオーケストラとヴァイオリン協奏曲を共演する。またオーケストラ奏者としても、名古屋フィルハーモニー交響楽団のゲストアシストコンサートマスターをつとめる他数々のオーケストラに客演。また、名古屋にて姉の水村さおりとデュオリサイタルを3回行う他、クラリネットの原田綾子、水村さおりとアンサンブルオラシオンを結成し、トリオ演奏会を開く。



崎本 絵里菜 (オーボエ)

高知県出身。13歳より吹奏楽部にて、オーボエを始める。ジュニアフィルハーモニックオーケストラに所属。2003年ロンドン、チェコにて親善演奏会、ヤングブラハ国際音楽祭に参加。東京芸術大学卒業。ヤマハ新人演奏会に出演。公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業「おでかけクラシック2007inあおもり」に参加。これまでにオーボエを、和久井 仁、小畑 善昭、池田 昭子の各氏に師事。室内楽を、佐久間 由美子、水谷 上総の各氏に師事。ピアノトリオシリウス、ヨロシクインデットメンバー。うらやすジュニアオーケストラトレーナー。

♪フルート/ピッコロ

- 長崎 亜星 昭和音楽大学卒業。1998年湘南支部新人演奏会出演、2000年フルートデビューリサイタル出演、「湘南の音楽家達」オーディションを経て同演奏会出演、静岡県フルート協会主催アンサンブルコンクールにて優秀賞受賞。フルートを黒田隆、増村修次、J.C.ジェラルド、石田真弓の各氏に師事。都立狛江高校吹奏楽部講師、鎌倉ジュニアオーケストラフルート講師。
- 小津 まゆみ 昭和音楽大学卒業。2004年渡独。2008年ハンブルク州立音楽院卒業。留学中はオーケストラ、ミュージカルに参加、教会や福祉施設にてソロコンサートを行うなど幅広い音楽活動を行う。2008年帰国記念ソロリサイタルを行い好評を博す。フルートを長谷川修、黒田隆、H.U.ハインツマン、U.バイセンヒルツの各氏に師事。現在、積極的に演奏活動を行い後進の指導にも力を入れている。
- 美島 美與 洗足学園大学、プレーメン州立芸術大学、ハンブルグコンセルバトリウムを卒業。酒井秀明、大友太郎、ハンス ウド・ハインツマン、ベッティーナ・ウィルド、ユルゲン・フランツの各氏に師事。第6回クラシック音楽コンクール入選。

♪オーボエ

- 崎本 絵里菜 P3：参照
- 小倉 悠樹 神奈川大学卒業。東京芸術大学音楽別科・大学院音楽研究科修了。第7回津山国際総合音楽祭ダブルリードコンクール入選。これまでにオーボエを松岡裕雅、小畑善昭、O.ヴィンター各氏に師事。室内楽を水谷上総、磯部周平、三界秀実の各氏に師事。
- 戸田 智子 弘前大学教育学部卒業。これまでにオーボエを鈴木繁、小畑善昭、和久井仁氏に師事。現在、東京芸術大学音楽学部別科オーボエ専攻二年度に在学中。 科オーボエ専攻二年度に在学中。

♪クラリネット

- 宮前 和美 国立音楽大学音楽学部器楽学科クラリネット専攻卒業。クラリネットを堀川豊彦、武田忠善の各氏に、室内楽を生島繁氏に師事。現在は吹奏楽、オーケストラなどフリーで活動中。
- 穂積 貴絵 国立音楽大学に在学中。クラリネットを武田忠善、木原亜土に師事。神奈川県高文連ソロ・コンテストに入選。

♪ファゴット

- 河崎 聡 東京芸術大学音楽学部卒業。在学中、大学内奏楽堂モーニングコンサートにてA. ジョリヴェのファゴット協奏曲を藝大フィルハーモニアと共演。現在フリーランス奏者として活動中。これまでにファゴットを板谷謙一、岡崎耕治の各氏に師事。また、K.トゥーネマン、L.ルフェーブル、M.レファート、G.オダンらのマスタークラスを受講。
- 柿沼 麻美 第17回日本クラシック音楽コンクール木管楽器部門高校生の部第4位 第12回KOBÉ国際学生音楽コンクール管楽器部門優秀賞及びガラコンサート出演 これまでにファゴットを吉澤真一、坂田在世、ジェラルド・E・コーリー、水谷上総、岡崎耕治の各氏に師事。室内楽を小畑善昭、池田昭子の各氏に師事。現在、東京芸術大学3年に在籍。

♪トランペット

- 金城 和美 沖縄県立芸術大学音楽学部器楽専攻管打楽コース卒業。東京芸術大学音楽学部別科器楽専攻修了。トランペットを津堅直弘、祖堅方正、杉木峯夫、大隅雅人の各氏に師事。現在、都内外でソロ・アンサンブル・オーケストラで演奏活動を行う。演奏活動のみならず、後進の指導も行う。
- 原 育海 東京芸術大学音楽学部器楽科トランペット専攻卒業。2006年、クルト・マズア指揮メンデルスゾーン基金コンサートに出演。2007年東京芸術大学神奈川同声会新人演奏会に出演。「曲からはじめよう！トランペット独習ナビ」(全音楽譜出版社)を監修。トランペットを森雅貴、大倉滋夫、津堅直弘、井川明彦、杉木峯夫の各氏に師事。鎌倉ジュニアオーケストラトランペット講師。國學院大学吹奏楽部トランペット講師。東京都市大学付属中学・高等学校音楽科非常勤講師。

♪ホルン

- 関谷 美紀子 東京芸術大学卒業。1999年ヤマハ新人演奏会出演。ホルンを大橋晃一、守山光三、ミクローシュ＝ナジ、田場英子の各氏に師事。現在出身地の神奈川と居住地の山形を中心にフリー奏者として活動。ヤマハ登録講師（主に東北）、鎌倉ジュニアオーケストラ講師。
- 内田 隆太郎 武蔵野音楽大学卒業。ホルンを須山芳博、故田中正大、水野信行の各氏に、室内楽をミクローシュ・ナジに師事。モーツァルデウム夏期国際アカデミーにてラドヴァン・ヴラトコヴィッチ氏に師事。その他各地のマスタークラスにてE.ペンツェル、W.ガーク、L.ゼーマンの各氏に師事。現在フリーランスプレイヤーとしてオーケストラ、室内楽等で活動中。アンサンブルパルナス、ホルニスツギルド東京メンバー。
- 山田 愛 東京音楽大学卒業。同大学在学中にソロ・室内楽定期演奏会、管打楽器卒業演奏会に出演。桐朋学園オーケストラアカデミー研修課程修了。横須賀芸術劇場主催『フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ リサイタルシリーズ』、『J Tが育てるアンサンブルシリーズ』出演。アジアフィルハーモニーオーケストラアカデミー参加。桐朋学園嘱託演奏員。これまでに守山光三、水野信行、猶井正幸、森博文の各氏に師事。

♪パーカッション

- 清田 裕里江 東京芸術大学今春卒業。2010年9月より洗足学園フィルハーモニックオーケストラ団員。2010年日演連新人演奏会オーディション合格。2011年、日本打楽器協会主宰第27回打楽器新人演奏会打楽器部門第一位、特別賞受賞。これまでに定成淡紅子、三科清治、杉山智恵子、藤本隆文の各氏に師事。ピアノ、ヴァイオリン、打楽器による「アンサンブルみつばち」、プラスアンサンブル「Jackass」メンバー。

♪ヴァイオリン

- 水村 浩司 P3：参照
- 土谷 茉莉子 東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。北鎌倉女子学園中学高等学校音楽科卒業。これまでに岡山潔、漆原朝子、漆原啓子の各氏に師事。
- 田島 華乃 桐朋学園大学音楽学部を卒業。全日本芸術コンクール第2位。第9,10回別府アルゲリッチ音楽祭に参加。富山室内楽セミナーにおいて東京クァルテットのレッスンを受講。ザルツブルク音楽祭にてE.シュミダークラス、ファイナルコンサート出演。ヴァイオリンを石橋敦子、江口有香、小林健次の各氏に師事。

田代 藍	東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。東京音楽大学研究生に1年間在籍。ヴァイオリンを故・鷺見康郎、山岡耕作、浦川宜也、荒井英治の各氏に、室内楽を生沼晴嗣、漆原啓子、河野文昭の各氏に師事。第37回鎌倉市学生音楽コンクール中高生の部第1位。第48回・第49回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第5回JILA音楽コンクール弦楽器部門第2位。第26回茨城県新人演奏会にて新人賞受賞。同演奏会30周年記念コンサートにも出演。大学在学中より現在に至るまで、オーケストラや室内楽、ミュージカルやスタジオレコーディング等、多方面にて活動中。鎌倉ジュニアオーケストラヴァイオリン講師。
井神 麻友子	桐朋学園大学卒業。第13回ベストプレイヤーズコンクール奨励賞受賞。第10回別府アルゲリッチ音楽祭に参加。故・久保田良作、鷺見健彰の各氏に、室内楽を徳永二男、藤井一興の各氏に師事。
東山 加奈子	第57回全日本学生音楽コンクール東京大会入選、第13回日本クラシック音楽コンクール入賞、室内楽においては平成16年日本アンサンブルコンクール優秀賞、大阪国際コンクールアンサンブル部門2位。ザルツブルク音楽祭、ベートーベンアカデミー、とやま室内楽フェスティバルに参加。プロジェクトQ第7章に出演。滝川美穂子、稲垣美奈子、山岡耕作、山岡みどり、前澤均、清水高師の各氏に師事。東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。室内楽やオーケストラなどで幅広く活躍中。現在quartettsoleilのメンバー。
片岡 未知留	東京音楽大学卒業。これまでにヴァイオリンを前沢均、大谷康子、齋藤真知亜、室内楽を藤原浜雄、堀了介、山崎早登美の各氏に師事。レディースオーケストラ「フルムス」メンバー。鎌倉ジュニアオーケストラ、ヤマハ大村楽器、内外音楽教室、かまくらジュニアストリングス、蒲田音楽学園各講師。
荒巻 美沙子	京都市立芸術大学音楽学部を経て東京芸術大学大学院修士課程室内楽修了。第11回KOBEO国際学生音楽コンクール最優秀賞、神戸市長賞受賞。京都国際フェスティバル、京都フランスアカデミー、とやま室内楽フェスティバル等のマスタークラス多数受講。東京芸大室内楽定期演奏会（奏楽堂）出演。加納千春、故東儀幸、山岡耕作、梅原ひまり、玉井菜採、松原勝也の各氏に師事。
武田 麻耶	桐朋学園大学卒業。これまでに室内楽各種コンサート、NHK文化センター講座出演、弦楽アンサンブルにてベトナムツアー2009'に参加など。石橋敦子、石井志都子、ライナー・シュミットの各氏に師事。
梶川 空飛亜	東京芸術大学器楽科を卒業。これまでにヴァイオリンを佐々木はるる、清水高師、塚原るり子、野口千代光の各氏に、室内楽を玉井菜摘、河野文昭、川名子紀子、花崎薫、東誠三の各氏に師事。
坂元 愛由子	東京芸術大学卒業。これまでに野上阜三博、若林暢、澤和樹の各氏に師事。
♪ヴィオラ	
舘泉 礼一	東京芸術大学卒業。国立音楽大学付属中学在学中、全日本ソリストコンテスト高校生の部入賞。同年ベストプレイヤーズコンテスト大学・一般の部入賞。ヴァイオリンを江藤俊哉、辰巳明子、清水高師、藤原浜雄の各氏に師事。ヴィオラを菅沼準二、川崎和憲、大野かおるの各氏に師事。
山口 真	神奈川大学附属高校を経て東京芸術大学卒業。日本演奏家コンクール特別賞受賞。武生音楽祭、ゆらぎの里ヴィオラマスタークラスなど参加。オーケストラや室内楽、アマチュアオーケストラのトレーナーなど多岐にわたり活動している。
多井 千洋	大阪府出身。愛知県立芸術大学卒業、東京芸術大学大学院に在学中。これまでにヴァイオリンを杉山笙子、故・東儀幸に、ヴィオラを竹内晴夫、クロード・ルロン、百武由紀、川崎和憲に師事。
北村 聡至	京都市立芸術大学を経て、現在東京芸術大学大学院室内楽ヴィオラ専攻。これまでにヴァイオリンを李陽、村瀬理子、鷺見健彰、四方恭子の各氏に、ヴィオラを山本由美子・市坪俊彦の各氏に、室内楽を久合田緑氏に師事。2000関西弦楽コンクール優秀賞・審査員賞。2001子どものためのヴァイオリンコンクール金賞。2005年・2006年京都フランス音楽アカデミーにて、弦楽オーケストラを森悠子氏に師事。2008年なら国際音楽アカデミーにて、森悠子、若林暢、マーク・ゴトーニの各氏に師事。
磯 晃男	武蔵野音楽大学卒業後渡独。ケルン音楽大学に留学。留学中の5年間の間に様々な演奏会に出演し研鑽を積む。帰国後2回のリサイタルを成功させる。現在ヴァイオリン・ヴィオラ奏者として、ソロ、室内楽、オーケストラ、レコーディングなどで活躍中。ヴァイオリンを磯良男、萩原耕介、G,Feigin、G,Peters各氏などに師事。
♪チェロ	
関口 将史	東京芸術大学卒業。ヴァーツラフ・アダミーラ、向山規矩子、山本佑ノ介、河野文昭、北本秀樹の各氏に師事。
水野 須美子	2000年桐朋女子高等学校音楽科に入学。03,05年、学内のオーディションに合格し第70,73回室内楽演奏会に出演。05年ワールドチェロコンgres、チョン・ミョンフン指揮の日報の若い音楽家によるオーケストラ2005に参加。またザルツブルグ夏期アカデミー、アジアフィルハーモニックオーケストラアカデミー、草津国際音楽祭など国内外の音楽祭に参加。チェロを故馬場省一、毛利伯郎の両氏に、室内楽を東京カルテット、岡田伸夫、山口裕之、荻田雅治、北本秀樹の各氏に師事。またダヴィッド・ゲリンガス、ジャン・ワン、ヴォルフガング・ベッチャー、タマーシュ・ヴァルガらのマスタークラスを受講。桐朋学園大学音楽学部を経て、2009年同大学研究科修了。現在オーケストラのエキストラや室内楽などの演奏活動の他に後進の指導など多方面にて活動中。
山田 健史	桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。大学卒業後フランス・リヨンにて研鑽を積む。2007年ピアリッツ(フランス)夏期国際音楽アカデミーにてマスタークラス受講。2009年、第14回宮崎国際音楽祭、第13回嶺南(韓国)国際現代音楽祭出演。これまでにチェロを秋津智承、北本秀樹、フィリップ・ミュレ、イヴァン・シフォローの各氏に、室内楽で徳永二男、木野政之、岩崎光、菅野博文、藤井一興の各氏に師事。
和田 理	桐朋学園大学卒業。10歳の時、弦楽器製作者の飯田裕氏に出会いチェロを始める。15歳より北本秀樹、チョー・ヤンチャン、ナサニエル・ローゼンの各氏に師事。2003年に台北国立芸術大学でナサニエル・ローゼン氏のマスタースクールに参加。樺楓舎アンサンブルに所属。現在、都内を中心にオーケストラ、室内楽など幅広い演奏活動を行なっている。
荻田 鉄平	東京芸術大学を卒業。桐朋学園大学院大学修士課程修了。これまでに、井上頼豊、荻田雅治、嶺田 健、ドミトリー・フェイギン、山崎伸子、岩崎 洸の各氏に師事。
♪コントラバス	
吉本 宗司	東京芸術大学音楽学部を卒業。在京オーケストラのエキストラ出演や槇原敬之、河村隆一、由紀さおり安田祥子姉妹、等数々のレコーディングに参加。コントラバスを永島義男、山本修、野田一郎、片山敏夫の各氏に、室内楽を鈴木秀美に師事。現在フリーのコントラバス奏者として活動。
早川 珠実	東京音楽大学卒業。コントラバスを永島義男、松本武全の両氏に師事。現在オーケストラ、室内楽、吹奏楽等で演奏活動を行う傍ら、後進の指導にもあたっている。「Jean Le Toise Yokohama管弦楽団」「MUSICA PORTO室内合奏団」各メンバー。六会中学校吹奏楽部講師、鎌倉ジュニアオーケストラトレーナー。

🎵 団員直撃インタビュー (聞き手：山之内正、オーボエ奏者：崎本 絵里菜)

ーオーケストラをバックに協奏曲は初めてと伺いましたが。

崎本：とても大変なことだと思っています。一方で大変良い機会であるとも思っています。オーケストラをバックに、如何に自分らしい音楽を作りあげることができるかどうか、このあたりがとても大切なのではないかと感じています。



山之内正

ーモーツァルトのオーボエ協奏曲にはどのように取組まれますか。

崎本：モーツァルトは古典ですので、音色とか表現についてある程度基本的な型があると考えています。音が荒れるとか品が損なわれるような演奏は控えたいと考えていますが、ただ、明るく輝かしい音だけではなく、その中にも“土”の香りのようなものが感じられるとよいと思いますし、特に2楽章では暖かさが感じられるよう心がけたいと考えています。

ー今回は指揮者がいない協奏曲となりますが、作戦のようなものはありますか。

崎本：どこまでオーケストラを引っ張っていけるか未知な部分もありますが、自分自身の表現したい音楽をまず示す、ということが大切と考えています。自分が“こうやる”と演奏しきらないと、いくら合図とか出してもオーケストラと心が離れていってしまいます。オーケストラから音楽を導き出せるよう、自らの演奏でリードしたいと考えています。

ーオーケストラもそのようなリードを期待していると思いますが。

崎本：今まで演奏する時は、音楽が伝わりすぎる位が丁度いいと思いつつも、踏み外してはいけないとの思いから、ある程度抑えてきた感があります。今回の協奏曲では踏み外しはいけませんが、是非踏み越えた演奏を心がけたいと思います。



崎本 絵里菜

ー手本となるようなオーボエ奏者はどのような方々ですか。

崎本：フランソワ・ルルーが大好きです。言葉に表せない、ときめきのようなものを感じます。頭の中がどうなっているのだろう、といつも気になります。モーツァルトの録音もよく聴きますが、このようにできたらいいな・・・とったりもします。あと師匠の池田昭子先生です。大学2年生から師事を受けましたが、人生観が変わりました。

ー横浜ゾリステンについて伺います。現時点での課題はどのあたりでしょうか。

崎本：もう少し演奏者全員がこの団体に“愛”をもって練習や本番に臨めると良いと思います。なかには十分に“愛”を感じられる方がいる一方で、やはり距離を置いておられる方もおられます。“ゾリステン”である以上、奏者各人が音楽に働きかけるようでないといけないと感じます。

ー今回のオーボエ協奏曲は課題に取り組むよい機会ではないでしょうか。

崎本：まさにその通りだと思います。ソリストがオーケストラに音楽を働きかけることで、その中で生き生きとした関係を築きあげることができると、全員が一体となってい音楽に結びつくのではないかと思います。今回も是非そのように取り組みたいと考えています。

ーオーケストラとご自身について今後の抱負についてお聞かせください。

崎本：今後、協奏曲をシリーズ化する動きがあるのですが、様々な楽器のソリストとオーケストラとの協演の機会を重ねることで、奏者全員が一致団結して取り組むことができるようになると思いますし、いずれ“横浜ゾリステン”で演奏したい、という奏者も現れてくるのではないかと期待感もあります。その時は大ホールデビューかもしれません(笑)。私自身も今後は独奏活動も視野に入れて、私というオーボエをアピールできるよう心がけたいと思います。

ーありがとうございました。今回の公演は期待感もありますし非常に楽しみです。

崎本：ありがとうございます。ご期待に応えられるよう取り組みたいと思います。



<山之内正プロフィール>

東京都立大学理学部卒業、出版社勤務を経てオーディオ、音楽の両分野での執筆活動に専念。Audio Accessory、AV Review、STEREO、レコード芸術、Mostly Classicなどに執筆中。著書：『インターネットで変わる音楽作業』(アスキー)、『はじめて楽しむホームシアター』(光文社)。

音楽スタジオ NEW OPEN



アコースティック楽器専用
個人練習やレッスンに最適

150円/15分～
武蔵小杉駅から徒歩1分

スタジオアイシャ

s-aisya.com
044-872-7844



高価買取

ピアノ・エレクトーン



電話での査定
↓
出張査定無料
↓
即日現金で買取
↓
引き取り致します

楽器総合販売・調律・移動・修理・廃棄処分etc...
特選中古販売 ヤマハピアノ・エレクトーン・デジタルピアノ
●新品各社デジタルピアノ取扱い
●在庫多数有・格安にて販売中!!



お持ちのピアノに消音機取付致します

ヤマハ特約店 鍵盤楽器公正取引協議会会員

(株) スミノ楽器店

0120-76-5516

☎(044)411-5516(代) 川崎市中原区木月3-10-3 (P有り)
東横線・元住吉駅下車徒歩7分

当社ホームページ

<http://www.sumino-gakki.com/>

いい楽器みつけた!

はじめての人からプロフェッショナルまで
管楽器は **YOKOHAMA セントラル**

MUSICAL INSTRUMENTS CO., LTD.
CENTRAL

金管マウスピース他
テューバ専用フロア

気になる楽器、
欲しい楽器が
きっと見つかる!

スタジオ
木管ストック
金管ストック
オフィス
ショウアップ
リペアルーム

セントラル楽器本館

都内近郊の方、意外とお近くですので是非お立ち寄り下さい!

情報満載

ホームページ

<http://central-gakki.jp>

E-mail: web@central-gakki.jp

毎日新鮮な情報に更新中!

ぜひアクセスしてみてください!

ヤマハ・サンキョウ・ヤナギサワ等、国産の一流ブランドから、ヨーロッパ・アメリカの超一流ブランドまで、すべてがそろった
管楽器の専門店

株式会社 セントラル楽器

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-15-2

TEL.045-324-3111(代) FAX.045-324-4025